

あなたもチャレンジ 家庭菜園



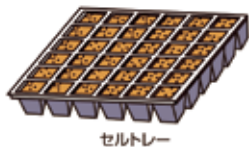
園芸研究家
成松次郎

トレビス 苗作りは十分な灌水を

図1 苗作り

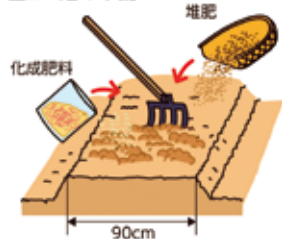


小型ポット



セルトレー

図2 畑の準備



堆肥

化成肥料

90cm

図3 マルチ張り

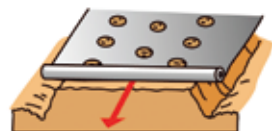


図4 植え付け

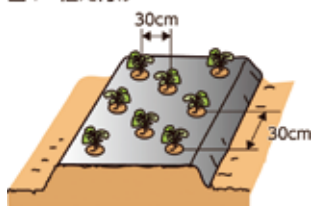


図5 収穫



赤キャベツに似ていますが、レタスの仲間です。特有の苦みと鮮やかな赤紫で、サラダに彩りを添えます。発芽と成長の適温は15〜20度なので、夏と冬の生育は困難です。中間地では、種まき適期は8月で、収穫期は11、12月です。

【品種】「ヴェネチア」（トキタ種苗）、「イノセント」（タキイ種苗）などがあります。

【苗作り】 小型ポットかセルトレーに1穴当りに4、5粒ずつ種をまき、種まき後は新聞紙をかけ、強い日差しを避けるようにします（図1）

1。暑い時期で蒸散が盛んなため、たっぷり灌水（じょうすい）します。本葉2枚までに1本になるように間引きします。本葉3、4枚までしっかりと苗を作ります。育苗中は、日よけのトンネルやよしずをかけて強い日差しを避けます。

【畑の準備】 畑1平方m当たり苦土石灰100gをまき、土とよく混ぜておきます。次に、植え付け1週間前に、幅90cm程度の栽培床（ベッド）に、元肥として化成肥料（NPK各成分10%）200g程度と堆肥2、3kgを施します（図2）。

【植え付け】 栽培床を平らにし、水分保持と雑草を抑えるためマルチフィルムを張ります（図3）。条間30cmでは3条、条間40cmでは2条とし、株間30cmに植え付けます（図4）。

【追肥】 1回目は植え付けの2、3週間後、2回目は球が巻き始めた頃に、それぞれ1平方m当たり30g程度の化成肥料を施し、株元に土を

寄せておきます。マルチ栽培では1回目はマルチ穴に、2回目は栽培床の両側に施し、土を寄せておきます。

【病害虫の防除】 高温期にアブラムシなどが発生しますが、比較的病害虫は少ない野菜です。発生が多いときはモスピラン顆粒水溶剤を用います。

【収穫】 秋が深まり寒くなると、赤色が鮮やかになってきます。頭部を押さえて球が固く巻いてきたら、株元に包丁を入れて切り取ります。再度、包丁を入れて下葉を落として結球部を調整します（図5）。

栽培カレンダー

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1
中間地				●	▲	■	■		

肥料価格高騰対策（春肥）申請手続きはお済みですか？

肥料価格高騰対策の申請支援として肥料を購入いただいた方へ、6月7日～27日までの間、申請受付窓口を設置させていただきました。万が一、期間内に申請手続きが行えず、申請の手続きを希望される方については早急に営農企画課（63-2101）までご連絡ください。



ご連絡期日 7月7日（金）まで

申請手続きに関するお問い合わせ先／経済部 営農企画課 ☎0749-63-2101